

リニア時代の“ものづくり” 対流拠点形成の検討

1) 検討の進め方

(1) **方針** 広域地方計画における中部圏の将来像の熱源である“ものづくり”の将来方向や社会の動向等を踏まえ、広域地方計画の推進に必要な具体的な取組等について検討を行う。

(2) **目標年次**

2050年頃までを展望しつつ2027年リニア中央新幹線東京・名古屋間開業を見据えた今後概ね10ヶ年間
(中部圏広域地方計画と整合)

(3) **期間** 平成28年度から平成30年度の3ヶ年を予定。

(4) **検討項目**

①ものづくりの現状及び将来方向の整理

統計データ等をもとに中部圏のものづくりの現状を把握するとともに、企業等への意見聴取を踏まえ将来の方向を整理する。

②リニア中央新幹線の効果整理

文献資料等をもとにリニア開業に伴う時間短縮効果などが中部圏に及ぼす影響・効果を整理する。

③地域づくりの基本方針確認

ものづくり等産業、暮らし、歴史文化等の社会の動向及びリニア整備効果を踏まえた、地域づくりの基本方針を確認する。

④将来方向実現のための取組整理

地域整備の基本方針を実現するために、必要となるハード・ソフトの取組を、広域地方計画の進捗評価等も踏まえ整理する。

工程表	H28	H29	H30
① ものづくりの現状及び将来方向の整理	■	■	
② リニア中央新幹線の効果整理	■		
③ 地域づくりの基本方針確認		■	■
④ 将来方向実現のための取組整理		■	■
企業等への意見聴取	△	△ △	